

【複数年度(1年目)】仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験 (宮城県仙台市)

1. 実験概要、留意すべき項目

- 広幅員の道路空間を活用し、賑わい・モビリティ・物流の複数種類の交通モードが同時に混在したときの走行安全性を検証する。
- 複数種類の交通モードが同時に混在した道路空間の検討に結びつく実験となっていること。

2. 今年度の調査内容、調査結果

- ① 複数種類の交通モードの導入に向けて
 - ⇒ 電動アシスト自転車の利用状況等に関する調査
 - ⇒ AI自動運転車いすの実走に向けた調査
- ② 次世代モビリティ共同ポート等の設置に向けて
 - ⇒ 利便性、安全性等に関するアンケート調査
 - ⇒ AIカメラにより、歩行者等の通行状況を調査
 - ⇒ 各出店事業者の売上額を調査



次世代モビリティ共同ポートの設置状況



次年度の実験メニュー

3. 次年度の社会実験に向けて

実験メニュー	実験内容
複数種類の交通モードの導入に向けて	複数種類の交通モードが混在した時の走行安全性をカメラ撮影、画像分析により検証
次世代モビリティ共同ポート等の設置に向けて	共同ポート、キッチンカー等を設置し、利便性の向上支援策を検証 運営に係るコストを検証

【複数年度(1年目)】仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験 (宮城県仙台市)

4. 今後のスケジュール

- 令和4年4月～9月:モビリティポートの設置
- 令和4年6月～10月:キッチンカー出店
- 令和4年4月～10月:電動キックボード、電気自動車、路側カーシェアの走行実験
- 令和4年10月:物流(宅配ロボ等)の走行安全性の検証

5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
モビリティ等を利用していない方や障がいがある人の意見も聞けるとよい。	東北福祉大学や協議会の会員企業も含めて、アンケート調査を実施した。
各モビリティの本体から移動や軌跡データが得られるとよい。	各モビリティの協力事業者を確認し、本社会実験で検討した。
幅員が狭い道路で、各モビリティが輻輳した状態を検証してほしい。	市民から本社会実験の実施によって、以前よりも幅員が狭くなったので困るといった声が寄せられたため、意見については再度検討する。
路側カーシェアリングで設置する車両は、軽自動車なら実現可能なのか。	車両は、1人乗りよりも荷物の運搬ができる車両の利用者ニーズが高いので、普通車の導入を予定している。
本社会実験で設置する電動キックボードの貸出しポートの台数はいくつか。	道路内には1箇所する。その他、協議会の会員等に意向を確認し、民地内にも設置する予定である。
野球や祭事など、イベントの有無や曜日別で変化があるかを調査してほしい。	令和4年度に調査を行う際、意見を踏まえて実施する。

6. 評価

- 順調に実験が進んでいる。
- 次年度の実験内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。